

# Asian Institute of Technology (AIT)

## <ジェンダーと開発>ワークショップ参加報告

2004年12月にお茶の水女子大学がAITと大学間学術交流協定を結んで以来7回目となる今回のAITワークショップは、2008年3月2日から14日まで行われた。タイへの渡航前の準備として「開発実践研究演習」の中で、荒木美奈子先生、市井玲奈先生による授業が行われた。今回の参加者5名（修士課程から開発・ジェンダー論コース2名、地理環境学コース1名、ライフサイエンス専攻特設遺伝カウンセリングコース1名、博士課程からジェンダー学際研究専攻1名）の各自の研究テーマを突き合せ、ワークショップのテーマ「Gender, Rights and Empowerment」を設定し、そのテーマに即して各自訪問したい団体・機関を選定した。また訪問先で行うインタビューの内容についてはあらかじめ準備を行った。



2008年3月12日に訪問したRaks Thai Foundationの事務所前で撮影。  
二列目中央に写っているビルマ人移民労働者の男性二人にインタビューを行った。

ワークショップのプログラムは、3月3日にオリエンテーションを受け、翌日から1日につき1-2団体・機関を訪問し、最終日の前日を準備にあて、14日にAITの学生たちが参加する授業でプレゼンテーションを行うというものだった。

計13の訪問団体のうち12団体においてインタビューを行うことで、タイのジェンダーに関する知識及びインタビューのスキルを学び、最後の訪問団体であるRaks Thai Foundationでの調査結果をAITの授業で報告し、AITの学生たちとインタビューの方法論についての理論と実践に関する有益な議論を行うことができた。なおインタビューについては、相手の立場から内容を解釈する一方で、相手との会話を通じて自らが持つジェンダー・バイアスに敏感になることで、自分自身を分析しながらインタビューを行うということを課題とした。

本ワークショップは、タイのジェンダーや開発に関する知識の習得だけでなく、インタビューやプレゼンテーション、英語のスキルアップ、また研究者を志す者としてのポジショナリティを熟考・確認できる大きな意義がある。是非、博士課程や他専攻の院生にも参加をお勧めしたい。

ジェンダー学際研究専攻2007年度入学 土野瑞穂

